

「de mano(でまあの)」は、牛豚肉を加工する「まあの」が発行するミニコミです。生産地の様子や生産者の声、「まあの」からのお知らせや小村の個人的な関心事などを掲載しています。

「mano」はスペイン語で「手」の意味です。生産と消費が「手」つなぐ肉流通を作り、「手」作業主体の職人の技術で肉を加工するという意を込めています。

まあのから de mano

スペイン語で「mano」は「手」、
「de」は「～から」という前置詞です。

発行:まあの 【火曜定休】
兵庫県尼崎市戸ノ内町5丁目8-6
☎ 06-6495-2546
📠 06-6495-2900
✉ mano0298@snow.plala.or.jp
HP <https://www.e-sora.net/mano/>

お肉を梱包する

ナイロンポリ袋が手に入らない！

4月6日に包材を仕入れている会社の担当者がやってきて「ナフサの入荷がなく、メーカーがナイロンポリの製造を中止しました。以降ご注文にお応えできません」と、青天の霹靂です。

ニュースでナフサ由来の商品の製造や流通がストップしていると報道されています。「モノタロウなどは在庫を持っているかもしれません」と言われ、ここでまあのをつぶすのはあまりにもしゃくなので、同じ材質の袋・よく似たサイズの袋をネットで探して、試しに購入していますが、あっというまにそれらも在庫切れ、出荷停止になっていっています。このままではお肉を製造できない事態に陥るのも時間の問題です。生き延びるためにいろんな可能性を探っていますが、さてどうなりますか。

高市首相は「ナフサは年明けまで十分な量を確保しています」などと無責任な発言をしています、現場の状況をちゃんと把握しているのか疑問です。

**肉屋潰すに
苦勞はいらぬ
NP 袋を
断てばよい**



春が来ました！

希望農場・4月農場たより 清野 光弘

ここ厚真町では今年雪が少なく雪解けも早く、2月下旬には平地はすっかり雪がなくなりました。ただ、遠くの山を見るとしっかりと雪で覆われています。桜の開花が全国的に早いようです。北海道も3月に入ると気温の高い日が続く、予報では1週間程度桜の開花が早まりそうです。ということは4月20日くらいには開花しそうで、そうなるゴールデンウィークには、葉桜の下でのジンギスカンになりそうです。

この1ヶ月で、世界はまたまた激変しました。アメリカとイスラエルがイランに戦闘を始めました。当初はすぐに終わる戦争と聞いていましたが、とんでもなく長期間になると最近のニュースで聞きました。原油の輸入が滞り、物価が高くなるような気配です。ただでさえ、昨年トランプ大統領になってから物価高が続いているのに。さらに厚真町の近くの千歳市で鳥インフルエンザが発生して、46万羽の鶏が殺傷処分になりました。卵が値上がりするのは間違いありません。世の中、景気が悪くなる話ばかりです。平和で安定した生活ができるように、高市総理大臣に頑張ってもらいたいです。

さて、放牧豚たちは、日に日に暖かくなってきて農場内の土も乾いてきて、晴れた日には土煙を上げて農場内を走り回っています。やはり寒くて雪があるより過ごしやすいようです。先日晴れて穏やかな日には、お腹を上にして気持ちよさそうに昼寝をしていました。私たちもこの暖かさで伸び伸びと仕事ができます。

皆様のところは桜が満開でしょうか？



桜の下でご馳走と美味しいお酒を飲んでいますか？
来月の農場たよりでは、北海道の桜のことをお知らせできるとおもいます。これからも皆様に美味しいお肉をお届けできるよう頑張っていきます。

山の記録

釈迦ヶ岳 (滋賀県東近江市) 5月2日

GW 中でしかも貴重な晴れ間ということで混雑が予想できたので、5時に家を出ました。名神はスムーズで7時前に石樽峠に着いたのですが、すでに満車。手前の道路脇にも数台。私はさらにその手前まで戻って、何とか空き地に停めました。

晴れていますが天候は荒れ模様で、強風に体があおられます。電波塔までのコンクリート道路を過ぎて山道が始まります。急な斜面はありませんが、何度もアップダウンが続きます。特徴的なことは山全体が花崗岩質で、左手三重県側がボロボロ崩れてい

っています。右手東近江市側は緩やかな林です。それで山道も馬の背が多くなります(→)。花崗岩の砂利でよく滑るので歩きにくいのですが見晴らしはよく、縦走路らしい風景です。先ほどの駐車場の車はほとん



どが竜ヶ岳に行く人で、このルートでは誰にも会いませんでしたが、三池岳に着くと(←)三重県側の八風キャンプ場から登ってきた若者二人に会いました。さすが若者、足が軽い！ さっさと私に先行しますが、写真を撮ったりしてゆっくり風景を楽しんでいます。それで私が先に行きます。まもなく八風峠。20年近く前の記憶に残っている鳥居が健在でした(→)。このあたり

が若者、足が軽い！ さっさと私に先行しますが、写真を撮ったりしてゆっくり風景を楽しんでいます。それで私が先に行きます。まもなく八風峠。20年近く前の記憶に残っている鳥居が健在でした(→)。このあたり



2026年6月 June
から、三重県側から登ってくる人に続々会います。高校生のグループや若夫婦など若い世代が多いのにびっくり。さらにランナーがどんどん追い抜いていきます。今月末に鈴鹿トレイルランレースがあるので、その下見だそうです。確かにこの馬の背はちょっと怖いですが、三池岳からすでに釈迦ヶ岳が見えているようなコースですから走るのにも最適でしょう。私もいろんな人と声を交わして元気をもらい、

何とか10時過ぎに山頂に着きました。狭い山頂は何グループもおられ大混雑です。一人に声をかけて写真を撮ってもらいました(→)。できればこの先の猫



岳まで行きたかったのですが、往復1時間以上かかり遅くなりすぎるので今回はあきらめました。ピストンで戻っていくと、まだまだ登ってくる人は大勢います。やはり若い世代が多い。じんわり山ブームが根付いてきています。

久しぶりの長距離で最後は足に来て、ちょっとした登り返しでも、とたんに足が止まって息をついてしまいます。経口補水液が効いたのか足は攣りませんでしたが、登山口まで戻ってくるともうへとへとでした。3万歩を超えました。

帰りの名神で1時間ほど渋滞が続き、その間に太もも・ふくらはぎと交互に攣ってきて、アクセル・ブレーキが思うように踏めず、前の車にぶつからないように必死でした。

ニクヤノツブヤキ

- ◇ 5月3日に私はデモに行けませんでした。国会前でも住居のある豊中では「戦争しないで！」という声に励まされます。そして皆さんに強く連帯します。(幸治)
- ◇ お肉のラベルのプリンターが突然「バッテリー異常」で中のデータが全部消えてしまいました。急遽メーカーに数年前の状態に戻してもらい、その後のデータを慌てて再入力、何やかやと毎日ジタバタしています。(幸子)